

# 日本国の看護師国家資格について

## A;日本人が看護師資格を取得するには

日本国において弁護士含め専門家として国家資格を取得するには、①受験資格②試験合格③実習経験の三段階があります。従って日本国の看護師資格も当然三段階があります。

また、日本人が一般に大学(短期大学・専門学校)を受験するには、

- ① 日本国の国立・公立・有名私立大学が事実上第一次試験として要求する独立行政法人大学入試センターが行う(毎年一月中旬の土曜日・日曜日に実施)「センター試験」と
- ② 「センター試験」を受けずに大学(短期大学・専門学校)が独自の試験科目で実施する試験があります。

受験日は2月が多く、受験生は3校～5校。程度受験する受験生が多い。

「センター試験」の成績結果は統計学の偏差値として表示されます。偏差値 60 以上は全体の15%で偏差値 40 以下は全体の 15%です。

## 看護専門学校等の試験科目は

- ① 筆記試験(国語、数学、英語、理科(生物か化学を選択)どの範囲まで出るかは学校により違う。
- ② 4教科もしくは数学を除いた3教科が多いです)
- ③ 小論文(作文ではないです。きちんと論文形式で書かなければなりません)
- ④ 面接(集団か個別)筆記試験は難しくない。

## 日本国看護師資格は厚生労働省の大臣認可で

- ① 医師
  - ② 歯科医師・薬剤師
  - ③ 看護師
  - ④ 准看護師
  - ⑤ 助産婦
- である。

以上のように、更に医療機関に就職ご勤務時間は8時間で結婚後子供が出来れば最長2年間育児休暇があり給料の60%～80%支給される。しかも看護師は国家資格3号資格で地位が高く報酬・給料も日本の優秀な大学卒業者よりも25%～30%収入が高い。一般に医

者と看護師の結婚もあるが極めて少ない、5%弱。日本の看護専門学校等の国立・公立を卒業者は看護師指導の教師となれば医者との結婚確率は高くなり25%強となる。

## I. 看護師国家資格の受験資格

医師国家試験はいくら優秀でも「センター試験」を受けて医学部に入学しなければ受験資格はありません。いくら有名大学の留学生枠で合格しても医師国家試験の受験資格はありません。

しかし、看護師国家資格の受験資格大学の看護学科、看護短期大学、看護専門学校(以下看護専門学校等という)の卒業見込み者に受験資格があります。一般に国立・公立以外は「センター試験」を必要としていませんが、最近日本経済の低迷から試験の倍率は約5倍となっています。

看護専門学校等の合格者の平均偏差値は48~52です。能力的には日本人では標準的な人達です。

ちなみに、日本人の大学進学率は90%で日本の超有名大学の有名学部に入るには偏差値が65以上必要です。また偏差値70は2%です。

## II 国家試験合格率

国家試験合格率は非常に高い。

| 【第100回看護師国家試験合格状況】 |         |       |          |          |         |         |         |         |
|--------------------|---------|-------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 区分                 |         | 学校数   | 新卒       |          |         | 既卒      |         | 合格率     |
|                    |         |       | 受験者数     | 合格者数     | 合格率     | 受験者数    | 合格者数    |         |
| 3年課程               | 大学      | 157   | 12,342   | 12,128   | 98.3%   | 309     | 234     | 75.7%   |
|                    | 短期大学    | 50    | 1,863    | 1,759    | 94.4%   | 274     | 154     | 56.2%   |
|                    | 養成所     | 498   | 20,409   | 19,932   | 97.7%   | 1,531   | 976     | 63.7%   |
|                    | (3年課程計) | (705) | (34,614) | (33,819) | (97.7%) | (2,114) | (1,364) | (64.5%) |
| 2年課程               | 短期大学    | 1     | -        | -        | -       | 15      | 4       | 26.7%   |
|                    | 養成所     | 256   | 6,699    | 6,478    | 96.7%   | 1,147   | 555     | 48.4%   |
|                    | 高等学校専攻科 | 39    | 315      | 278      | 88.3%   | 260     | 79      | 30.4%   |
|                    | 通信制     | 23    | 4,098    | 3,540    | 86.4%   | 1,321   | 730     |         |

### Ⅲ、実習期間

実習期間は1年。看護学校等は最終年度2年生か3年生が実習期間です。実習期間中は、アルバイトは出来ません。奨学金を申請する学生が多い。在学2年の場合は授業時間が長くアルバイト時間がない。しかし学費は日本の医療機関が3年～7年の勤務条件で全額支払う。所謂“青田買い”即ち医療機関の期待度が高いという事である。

B;中国人が日本の看護師資格を取得するには、

#### ① 中国で日本語検定一級の資格者→合格の確率 5%以下

中国で高校卒業以上の人は日本の看護師国家試験を直接受験することが出来、実習1年で資格は取れます。しかし現実的には日本語学校に入学せずに資格取得は難しい。中国と日本との文化・価値観の違いがあり医療機関への就職の可能性があるが、まるでオリンピック選手のように非常にハードルが高い。

#### ② 中国で日本語検定二級の資格者→合格の確率 60%以上

中国の高校卒業以上の人が日本の日本語学校にまず入学し、1.5年から2年で日本語検定1級が取得できます。日本語学校の卒業証明書があれば看護師国家試験を受験できます。合格後1年の医療機関で実習すれば資格はとれます。

#### ③ 中国で日本語検定三級の取得者→合格の確率 98%以上

日本語学校で1.5年～2年日本語を学習し、日本語検定二級以上が取得できます。看護専門学校等に進学は容易です。看護学校の学費は就職先予定の医療機関が負担してくれます。但しその医療機関に3年から7年勤務が条件です。また5年日本で学生生活しその後日本の医療機関に5年間勤めれば日本の永住権も取得できます。また中国人留学生が看護師目的で来日しているので日本国でアルバイトが医療機関で働く事が容易です。

#### ④ 中国で日本語検定四級の取得者→合格の確率 60%程度

中国で既に看護師資格のある人で、日本語学校で1.5年～2年日本語を学習すれば日本語検定二級以上の資格は取得できます。日本語学校の卒業証明書で直接日本の看護師国家資格は受験できます。

最後に日本の看護師国家資格を取得し人柄がよければ 100%日本の医療機関

に就職できます。

加油吧 2011年4/8 文責 南淵弘昭

